崇広中だより

【カラー版を、ホームページに掲載しています】

NO.10　　2023.2.24

発行　崇広中学校長

入学説明会を行いました！

２月２日（木）午後、来年度入学予定者の６年生の児童と保護者の皆さんが来校されました。４月の入学に備えて、本校職員からの説明を聞いていただいた後、制服・体操服・スリッパ・体育館シューズ等の採寸や物品購入をしていただきました。昨年度は新型コロナの影響で、オンラインでの説明会となりましたが、今年度は、児童と保護者のみなさんを本校にお迎えし、説明会を実施することができました。

２年生のみなさんには最高学年になる準備を、１年生のみなさんには先輩になる準備を、しっかりお願いします。

１年生山なみ学習講演会

２月８日（水）に、「ふっくりあホイスコーレ」の藤岡絵都子さんにお越しいただき、ご講演をいただきました。障がい者問題について、「人はそれぞれ得意なことや不得意なことがあって、その事を認めて協力して住みやすい世の中を創っていきましょう」とお話しいただきました。また、「障がいのある人は特別な支援は必要だけど、特別な人ではない。障がいはその人と環境の間にあるもの。」と、周りの人たちの偏見や、障がい者問題を理解しようとしない心が障がいになっていることを教えていただきました。

生徒からは、「自分の得意、苦手と相手の得意、苦手は違うし、自分にとっての『あたりまえ』と相手にとっての『あたりまえ』も一人一人違いがあるのは変じゃなく、違いを知ることが理解につながるという話が印象に残りました。」といった感想がありました。

PTA教育講演会

２月１０日（金）に、助産師の林みちこさんをお招きし、「生きてるだけで１００点満点」との演題でご講演をいただきました。

約１時間の講演でしたが、力強い語りとユーモアを交えたお話に引き込まれ、あっという間の講演会でした。子どもたちのありのままの姿を認め、愛することの大切さやメッセージの伝え方など、子育てに関わり誰もが抱く悩みについて、「朗らか」というキーワードから、熱くお話しいただきました。聞かせていただいた私たちも元気なるようなお話で、「大人も自分を大切にしないと」というメッセージが印象に残りました。

また、一人で悩まず、誰かに相談することの大切さを伝えていただきました。

伊賀の森っこ育成推進事業の活用

伊賀の森っこ育成推進事業を活用して、１年生を対象に、木工体験活動を行いました。技術科での「ものづくり」学習において、マルチラックを作製しました。この事業では、森林が生み出す木材資源の有効な活用について体験や学びの機会を持つことに対して、市から補助金をいただいております。材料費を補助いただきました。

今回は、マルチラック作製とともに、森林の果たす役割について、保水や河川保持、地球温暖化への影響等について学習しました。

なお、この事業は「みえ森と緑の県民税事業」が財源となっております。

☆いじめ防止の主体的な活動推進事業動画コンテスト「優秀作品賞」受賞

旧生徒会執行部が中心となって作成した「いじめ防止動画」が、「優秀作品賞」を受賞しました。県下で３校のうちに選ばれました。メッセージがストレートに伝わる作品で、シナリオ、演技ともすばらしかったです。おめでとう。

いじめを許さない崇広中学校を、みんなの力で創り上げましょう。

今日は何の日？

みなさんは知っていましたか？２月２２日は何の日だったでしょう？

「ニンニンニン」で２月２２日は「忍者の日」（一般社団法人日本記念日協会登録）です。平成２９年の２月２２日に、伊賀市は「忍者市宣言」をしました。その宣言文には「忍者の歴史文化や精神を継承する・・・」という文言が書かれています。この「精神」という言葉は、古文書では「正心」と表現されており、忍術伝書「万川集海」では、その冒頭で延々と「正心」が説かれています。忍術を私利私欲に用いることを戒め、正心とは仁義忠信を守ることとされています。「自己の技能・知識を利他的・公益的に用いること」ということですね。

将来、就職したり起業したり、またプロのスポーツ選手として活躍したり、みなさんは様々な夢を描いていることでしょう。その目的は、お金を稼ぐことややりがいを得ることなど、たくさんあります。しかし、視点を変えると、自分の力が他の人を元気づけたり、社会貢献になったりするという面もあるのではないでしょうか。

世界的忍者ブームで、忍者の神秘的な強さやかっこよさが「クール」といって評価されています。でも、忍者発祥の地と言われる伊賀市の市民としては、本当の忍者の生き様や精神を理解しておきたいものです。

伊賀市には、忍者をはじめ、俳聖松尾芭蕉（芭蕉さん）、ユネスコ無形文化遺産に登録されている「上野天神祭のダンジリ行事」など、世界にも誇れる文化や歴史が多く存在しています。

私たちの崇広中学校の校区にも、貴重な文化財や歴史的逸話が残る場所がたくさんあります。

みなさんは、郷土伊賀市についてどんなことを知っていますか。

２月22日の給食は「忍者の日献立」でした。

メニューは「忍者黒米ごはん、白菜のみそ汁、うずらがくれのとりつくね、牛乳」でした。